

第 11 回香取市地域公共交通協議会会議録

会議の名称	第 11 回香取市地域公共交通協議会	
開催日時	平成 25 年 1 月 22 日 (火) 14 時 00 分から 15 時 55 分まで	
開催場所	香取市役所 (本庁) 7 階全員協議会室	
議長氏名	香取市地域公共交通協議会会長 八木 貴弘	
出席者氏名	別紙 1 のとおり	
欠席者氏名	別紙 1 のとおり	
事務局氏名	別紙 2 のとおり	
会議事項	1 議題	2 会議結果
	(1) デマンド交通の試行導入について	(1) 市の方針を事務局から説明し、次回の協議会で正式に協議することとなった。
	(2) 住民アンケートの実施について	(2) 意見を踏まえて修正し、アンケートを実施することとなった。
	(3) 香取市地域公共交通協議会規約の改正について	(3) 規約別表については原案を修正し、役職名を付すこととなった。
会議の経過	別添 (会議経過) のとおり	
会議資料	① 第 11 回協議会資料 ② 資料「デマンド交通試行 運行計画詳細の検討」 ③ 資料「乗合タクシー試行に関するアンケート調査」	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
平成 25 年 2 月 26 日	議 長 八木 貴弘	

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局  八木会長	<p>1 開会</p> <p>【配布資料の確認】</p> <p>2 あいさつ</p> <p>香取市副市長の八木でございます。本日は、大変お忙しいところ、この協議会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。</p> <p>さて、今日は第11回の香取市地域公共交通協議会ということでございますが、11回と申しますのは、平成20年度にこの協議会は設置されて、そこから数えましてトータルで11回目ということでございます。前は、昨年6月19日に協議会を開催しておりまして、公共交通連携計画に基づき実施したバスの運行などについての進捗状況、実際の乗車の状況といったもの、あるいは工夫している中身などについての報告をさせていただいたというところでございます。また、国の確保維持改善事業に係る計画ということで報告をさせて頂きましたけれども、おかげ様をもちまして、国の認定を受けることができました。厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、今日はそれを受けて第11回の協議会ということでございますけれども、議題の大きな1つでありますいわゆるデマンド交通の導入というものについて、どうするかということが大きな課題として残っております。周辺の市町、あるいは他県の状況などを見ておりますと、地域公共交通の確保をどうするかということで、各自治体、各地域とも、非常に頭を抱えている、少しずつ色々なことをチャレンジしているといった状況でございます。香取市でも内部で色々なところのヒアリングをしてみたり、乗降調査をやったり、検討をして参りました。そこで、このデマンド交通導入に対しまして、現時点でこんな方向でどうでしょうか、ということをご説明させていただいて、皆様からご意見を頂戴したいと思っております。また、本当にデマンド交通を導入するということを考えていきますと、住民の方々へのアンケートが非常に重要になってくると思っております。まずはデマンドをやるとしてもその前に試験的にやることからスタートするであろうと。本当に試験的な導入をやるのかどうか、市民の方々へのアンケートが必要になるであろうということで、アンケートの実施について今日は協議をさせて頂きたいと思っております。最後に、本当にデマンド交通を取り入れてやっていこうということになりますと、交通会議での協議が必要となっておりますので、この協議会に交通会議の機能を加えるという意味での規約変更を協議させて頂きたいと思っております。</p> <p>本日は非常に盛りだくさんの内容になっておりますけれども、皆様から忌憚りの無いご意見、ご提案を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

事務局	<p>それでは、協議会規約第7条第1項の規定により、会議の議長は会長となっておりますので、これから会議の進行を八木会長にお願いしたいと思います。八木会長よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、ただ今事務局から説明がございましたとおり、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p><b>3 議事</b> <b>(1) デマンド交通の試行導入について</b></p> <p>それでは、お手元の次第に沿いまして、まず議事の(1)デマンド交通の試行導入について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【デマンド交通の試行導入について説明】</b></p>
議長	<p>ありがとうございます。ただ今、事務局からデマンド交通の試行導入についてご説明を頂戴しました。本日の協議会では、まず、デマンド交通の試行をやってみたいということ、その方針について確認させていただきたいと思います。さらに先ほど説明がありました具体的な中身ですね。運行の運賃であるとか、運行形態であるとか、乗降場所の形式、予約の仕方ですとか。こういった先ほど検討中の案ということで紹介されましたけれども、さらに市の事務局の意向としては今後アンケート調査をやったり、さらに詳細を検討していった上で 次回3月にまた協議会を開催させていただいて、その場で決定をしていきたい、そのような流れということでございます。それではこの後、ご意見を頂戴したいと思います。2段に分けまして、まず具体的な計画案の詳細部分に入る前に、大きなデマンド交通を試験的に導入しようという方針についてまずご意見を頂きまして、その上でさらに次のステップとして、具体的な先ほど説明があった計画案についてのご意見を頂戴するといった流れで進めさせていただきます。それでは、まず前段のデマンド交通を試行導入するという点につきまして、ご意見やご指摘を頂戴したいと思います。いかがでございますでしょうか。</p> <p>では、鶴澤さんお願いいたします。</p>
鶴澤委員	<p>千葉交通と申します。近隣で今、このデマンド交通というのが非常に流行りで、隣では成田市さん、それから芝山町さんも進められております。それで私ども、バス事業ですから、利用者がいなくなったところをコミュニティバスという小型のバスで、狭い所にも入っていけるということでスタートしてきたのがコミュニティバスなんです。本当に私、これで良いのかと思っているのですけれども。と言うのはですね、確かに利用者が少ないのは先ほど事務局から話してもらった通り、毎年区長さんが変わる毎に奥へ奥へと入っていくんですよ。ですから、いったん乗られた方がグルグル回ってやっと目的地に着くというのがコミュニティバスが大きく利用者減になっている理由となっております。</p>

	<p>それともう 1 つ申し上げたいのは、せっかくバスを購入されて、ルートを作って、旧小見川、それから旧佐原市さんでは橋の向こうの方までバスを乗り入れをして作ったところを、この路線を活かさずにそれを全部止めちゃって。いったん止めたら帰ってきませんので。それを止めてデマンドに行く姿がはたしてどうなのかなと思っています。</p> <p>私どもとしては、本来は、成田市さんがそうでしたけれども、コミュニティバスがどうしても入れない、奥地まで道路改良しないと入れないという所について、成田市さんはデマンドを実験しました、1 年間。確かに利用者少ないですよ。それでも利用者の方々からは不満はありませんでした。私どもの所も公共交通として乗合タクシーが入って来れたというのが一つあったんです。今、成田市さんは、今度はまた変えて、福祉という観点から全エリアをデマンドでやるんだということでもあります。これはもう、事業者は猛反対をしましたが、実験的にということでは得ず苦渋の選択をさせていただいたということでございます。バス事業者だけでなくタクシー事業者も同じです。</p> <p>この佐原と小見川さんの所で、これからせっかく買ったバスを止めちゃって、デマンドでスタートするのははたしてどうかな、と思っています。もっと、コミュニティバスを細かくでなくて必要性のある所だけ走らせて、さらに奥地についてはデマンドという形のやり方もあろうかと思えます。</p> <p>富里市さんは、この 4 月から 1 ルートだけ残して後はこのデマンドに切り替えました。その状況をまだもう少し見てからでも良いのではないかと思っています。せっかくここまでバスまで作って一旦は軌道に乗ったところを、まだまだ利用者が少ないからと言って変えるのはどうかと、1 つご提案申し上げたいと思います。以上でございます。</p>
議	<p>長</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今、鶴澤さんからせっかく走っているコミバスが、どんどんルートが奥へ奥へとなっちゃってるから、よけい不便になってしまって利用がなかなか伸びなくて、せっかく定着したものを全部止めてデマンドにしているのかと。もうちょっと周りの状況を結果がどうかを見極めたらどうかのご指摘だったかと思いますが、この点、事務局の方でいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>企画政策課長の林と申します。</p> <p>やはり、既存のバスを中止してとなると、多少のもったいなさというのは残るのですが、実は 24 年度に総合計画の方で後期基本計画を策定しているのですが、その中で市民の意識調査を行っておりまして、公共交通に対しての満足度が低いというような数字が出ております。また循環バスの乗車率が低いというところでどういうことかなと考えた時に、先ほど申し上げたように 1 本の路線では点在する集落の交通弱者を拾えないということに気付いたところで、これをなるべく拾えるような体制を早く構築したいというところで、デマンドがベストなのかなと考えているところですので、あくまで実証だということ、これがやはりうまくいかな</p>

議

長

れば循環バスの再開もあるのかなと考えているところでございます。

ありがとうございました。

現状、なんとか今のコミバスが軌道に乗ってきているというのをどう評価するかというところで、市民の方々にアンケートをとると軌道に乗っているとは中々評価してもらってはいなくて、不便だから何とかしてくれという声が強いと。そうすると、今のコミバスを前提にすると根本的な解決は難しいので、試行をとにかくやってみたいということなのかなと思います。ここは確かに難しいところだと思います。おそらくデマンドを試験的に導入するにしても、導入した結果、それっきりなのか、あるいは導入するにあたって、本当に良いのか悪いかをどうチェックしていくのかとか、きちんとフォローしていく体制をそろえる必要があるかと思えますし、ある意味、よそがやっているからただどンドンやれというのではいけないよということなのかなと思います。市はそういう理解で進んでおりますので、ご理解いただければと思います。

それではお願いします。

岩崎副会長

千葉運輸支局の岩崎でございます。

デマンドについては県内各市町村様、それぞれ悩んでおります。新たな交通空白地域の中に入れようという所もあります。それからコミバスから変えようという所もあります。で実際にも1年、2年廻しているところもあります。ダメだったから止めようという決意をするところもあります。止めるという協議に参加するのは非常に心苦しいですが、私、今週出て決定します、というところもございます。それは利用者になんと理解を得て目標値を定めて、その目標値に定められたところまで到達しないからしょうがないよね、という所です。そこはコミバスをやっていました。利用が低迷しているからデマンドを入れました。でも止めます。結局地域の足がなくなる可能性もあります。先ほど鶴澤委員から言われましたが、コミバスでもっと改良の余地はないのか、もっとシンプルにできないのか、というところの議論が欠けていたのかというところもございまして。そうは言ってもまた新たにやるというところも。今月15日から旧沼南町ですね、今、柏市になってますがそこで走ります。そこはまたやり方が違って、隣の市町村さんがやっているやり方はやらないということで新たなやり方で導入してます。そこはやはり行政負担をどうしても減らしたいから、ということからやって、というところもあって。

あとここで事例がございまして、横に広がっている表の千葉県A市さんというところがございまして。このA市さん、利用実績を見ますと96.7人で千葉県ではまあ多い方でございます。ここが意外と頑張れたのは、導入まで約1年近くかかっているんですね。まず導入方針を決めて、それからやり方を色々な地域な地域に行き、あれが良いこれが良いということ、タクシー事業者さん、バス事業者さん、それと地域、それぞれ検討して、どういう方針が良いということを決

めて、決めると同時に評価を短期間でやって、それで改善すべき点は改善しようということ、一所懸命考えながら導入をしております。ここは場合によっては、デマンドの車両足りないねというところまで議論がいつてます。B市さん、多分あそこだろうと思われまます。金額を見ると。ここはあぶないかなというところがございます。それからC市さん。スクールバスと併用しているからあそこかなと思います。車両マイクロになっていますが多分ワゴンです。ワゴン4台だと思いうのですけれども。そのようなところで、それぞれ、副市長、課長が言われたように、導入方針決定は本当に地域の皆さま方と真剣になってですね、本当に必要なかど、誰が必要なかということ、議論しないといけないと思うのですね。そうすると地域の人がどれだけ欲しいか、どれだけ私たちが望んだかということ、しっかり聞いてみないとわからないですね。そういうことが聞こえて、それで初めて当該地域のところでコミバスで小型化したけどさらに入れない人たちのバス停まで歩くのがしんどいという人たちが広く分布しているのであればデマンドは有効だろうと思います。だから必要性をしっかりと議論していくということが必要で、そのために市民に聞くアンケート調査の中でなるべく具体的に聞くということですね。これからアンケートの中身も議論していただくようになりますが、よく聞かないと導入方針をどうするかということはまだこの資料だけではわからなくて、試行だと言っているのでもどのくらい試行するのか、試行するときの評価するポイントは何なのか、評価の指針・基準はどうするのかという所も併せてですね。今日は前段ですので全部という訳ではないのですが、そういったところも併せて、今日事務局がお持ちであればそれで結構ですし、なければ次回3月にまだ機会がありますから、その中でご議論していただければ良いのかなと思います。

ちょっと長くなりましたがまとめでございませうけれども、まず導入方針だけでいえば、地域の皆さまが本当に欲しているかどうかということ、それから導入方針を決定してしまうということは、今ご説明がありました、資料5ページの行政負担をもってしても地域に必要なだということ、わかればそれがいいのかなと。ただ金額の多寡は私の委員の立場ではあまり言えませうけれども、こういう行政負担をもってしても当該地域の人々が本当に困っているんだということが皆さま方のご議論の中で出てくればやぶさかではないなと思います。後は導入する今後の議論ですけれども、導入は他市町村が失敗した事例はよく検討していただいて、真似ないこと。後もう1つ、入れる地域のことなんです、ご提案のあった佐原と小見川の地域ですが、確かに利用者が減少して今この路線型では救えないから面的に拾えるデマンドだということなんです、その前段となっている利用者が減少というのは前回の協議会での資料を見ると、小見川の東南地区って利用者が増えているような気がするんですね。例えば6月の資料を見ると平成21年が1,558人。それが4,213、それから7,954というところで、せっかくなじんできたのに本当にいいのというのがあります。そうではなくて、小見川の東南のルートについての利用者の分母のほとんどは学生さんなので、実際はそう

<p>議 長</p>	<p>ではないですよというお話があれば、確かにこの地域というのは利用が低迷してるねということがわかれば、それで選定地域はよろしいのかなと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>皆さま方からご意見を頂戴していると、中々デマンドにすればうまくいくというものではないので、よくよくその辺りを考えた上でということなのかなと思いますが、他に方針の部分についてご指摘等ございましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>無いようでしたら、続きまして先程来、話が出ておりますけれども、運行形態の中身について、まだこれで行くんだという訳ではありませんけども、この後さらに検討していくというつもりでいる訳ですが、その現在検討中のものとして事務局から示された案につきまして、ご指摘等を頂戴できればと思いますが、まず、その観点で申しますと、先程岩崎さんからご指摘があったものの内、エリアについて小見川の東南地区がお客さんが増えてきているのではないかとのエリアについてのご意見がありました。この点について事務局の方からいかがでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>お答えします。</p> <p>小見川地区、確かに前回の協議会でも利用が増えているとご説明したところなのですが、実際のところ、小見川高校生と思われるのですが、小見川駅から城山公園というバス停の間の利用者の方が圧倒的に多いところでして、例えば第1便だけで申しますと乗車人数 2,522 人いるのですが、その内 2,181 人という圧倒的な数が高中生ということで、増えている要因としては高生の利用が増えているのかなと見ております。高生の利用と高齢者の方の利用とが互いに公共交通全体を維持していくといった形になっていけば良いということなのですが、実際の所、高生の利用ばかりに偏ってしまっているというのが現状でして、高生の場合、駅まで歩いている方も非常に多いということで、交通弱者に対応するという点では、高生については優先順位が低いのかなと考えておりますので、増えてはいるけども十分コミバスが本来の目的を達しているかということについては疑問だというのが事務局の認識にはなっております。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>若干補足しますと、全体のデータの状況については先程岩崎さんがご指摘されたそのものでありまして、実際に増えていますのは駅から城山公園までの高校生なので、これは増えてるけど高校生だからほっといてもいいよと言う趣旨ではなくて、西ルートと共通ルートになっている部分がございまして、東南ルート全体が増えている訳ではないということと、西ルートのこの増えている部分については別途西ルートの方をまた少し考えないといけないのかな、ということになってくるとは思っております。</p>

それでは、他にこの運行形態の案につきましてご指摘やコメントなどいただければと思いますがいかがでございましょうか。

はい、お願いします。

岩崎副会長

ここは交通事業者様にお伺いしたいところなのですが、まず運行形態案で香取市の検討の方ですね、事務局さんで細かくまとめていただいたので色々わかりやすくなっているなどは思うのですが、まずデマンドについて皆さんがご存知なのですよね、という前提でお話をしているのか、それから市民の皆さま方のこういう乗り物でいいですかというところはしっかり説明して、今回アンケートの中でご理解いただくとして、我々事務レベルでこの中で検討していかないといけないと思うのは、運賃なのですが、先程、横の表を見て頂いた時に障がい者が無料というのは中々なくて。私、決して障害者を高くしようということはありません。私バリアフリーを担当していますから障がい者を救いたいというのはありますが、異、コミュニティバスという時にいきなり高齢者無料とか障がい者無料となってしまうと本当に普通のバスとの格差が大きくなってくるものですから、こういう導入するとき市の福祉に対する考え方というのがあるのですが、本当に無料で良いのだろうか、バスの割引運賃の適用で良いのではないか。バスの割引運賃って半額なんですかね、2割でしょうか、決まっているんで。この際、決めるということも必要ではないかなと思ったりもします。

それからITシステムの導入でございまして。ITシステムの導入は3種類ぐらいありますので、まず考えるのはITシステムが本当に必要なかどうかということ。ここ見て頂くと運用保守委託料で200万円かかります。それからこの5ページの一覧表で見ますと、導入費用で初期コストが50万かかります。この金額って本当に必要なのだろうか。200万割ることの運賃にしたら相当乗ると思うのです。その人数乗れるかわかりませんが。そうするとこの地域で、例えば佐原地区で2台でやるんですね。佐原地区で2台であって9便だけなんです。この時にタクシースタッフさんの方で無線対応できませんか、電話受付できませんかという所ですね。例えば千葉交タクシーさん、北総タクシーさんいらっしゃるから、そちらの方にお伺いして、1日9便回すだけなんですけどコンピュータいりますか？というのがあるんですね。そこを今日ここで議論する訳ではなくて、今日終わった後で事務局さんと交通事業者様とで良くご相談して頂いて。後、運行契約もプロポーザルになりますから、そういうものも事業者様にご提案して頂くというのも1つの手だと思います。それから定額での車両借上げというのがあります。定額での車両借上げを定期的な運賃でやると30分間の時間貸しが2,900円、1時間が5,800円、5,800円かける8時間半ということになるのか。定額での車両借上げだとそうなりますよね。それが良いのか。例えば他の地域で申し上げますと、先程柏市でやっているのは1便当たり1,000円の補助しか出ないんですね。というのが新聞に出ています。で、例えば他の地域で検討しているのは、運行の総経費引く2分の1。この2分の1は収

	<p>入で賄いなさい、あるいは地域の方が負担しなさいというの もやっています。いずれにしてもコミバスより高くつく。コ ミバスの方がバス大きいのに燃費も低いのに何でタクシーに なると高いんだらうというのが出てきます。ということで、 運行契約の仕方も検討しないといけないのかなと思います。 それから運行ダイヤで1時間に一本。これは多分必要なの かも知れません。ただ経費を削減するんだったら…。今5便く らいしか走っていないんですよね。5便の所が倍になるから 便利になるからいいのかな、1日どうせ借り上げるならもっ と走った方が良くないんじゃないかとか。一本当たりの補助でや るならもっと減らした方がいいのかなというのがあります。 そういう所、一つ一つ考えてく必要があるのかなと思います。 ちなみにこちらに千葉交タクシーさんがいらっしゃいますか ら、成田市で実際にデマンドやっていますから、実際どうい う風にやっているか皆さんに、ご紹介頂きたいなと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございます。 ご指摘が何点か、運賃の話、ITシステムの話、定額での 車両借上げ、ダイヤの設定…。要するに運行形態の基礎的な 前提となるもの、契約形態もそうですけれども、もう少し色々 検討する余地があるのではないか、それよりベターなもの があるのではないか、もう少しこれから詰めていったらどうか、 とのご指摘であったかと思います。 では高橋さん、いかがなものでしょうか。</p>
<p>高 橋 委 員</p>	<p>北総自動車の高橋でございます。この導入につきまして御 市の方から何度かご意見を聞きたいということでいらしたこ とがございました。近隣の自治体さんの実施している内容な どを知っている限りでお話したんですが、何といたっても不特 定多数の方の注文の発生、これが一番配車のネックになって いるようでして、これを先程専門官の方からお話しがありま したけれども9便ぐらいでITの導入が必要かとのご指摘が ありましたけれども、これってタクシーの通常の配車業務を 見えていますと、ちょっとでも新しいお客様から注文が来てし まいますと、まず動態図を持ち出して位置を確認する。で、 通常のお客様が今度広範囲に色々なお客様がいらっしゃる訳 ですから、しかもドアツウドアという形式で実行されるとい うことなんですね。まず地域に明るい人が配車をしなくてはな らない。それと効率よい組み立てというのもしなくてはな らない。と、ということから導入についてはコストがかかって もIT方式というものがどうしても必要なのかな、それも第 3者がやるべきのかな、これはタクシー会社の配車係が電 話を受けながらこれをまとめるというのはかなり厳しいので はないかと思っしてITシステムを導入したうえで試行したほ うがよろしいのではないかとのご提案をした訳なんでござい ますけれども。この実施に当たりましては、じゃあタクシー会 社、お前の所やるのかという話になった場合に、今の運賃の 問題であるとか、いわゆる車の形式ですとか、セダンでやら せてもらえるのか、あるいはワゴン車を導入しなくてはなら ないのかということになった場合に。それプラス人員の問題 ですね。そういった色々なものがのしかかって参ります。た</p>

<p>議 長 藤 田 委 員</p>	<p>だでさえ人員確保ができない中で、タクシー会社のダイヤの中でこの運行を賄うということになりますと、通常でも乗務員にその日その日の収入というか得られる訳ですね。しかしデマンドバスというのを私が仮にこれを請け負うとすると、デマンドバスはタクシー業務にプラスデマンド乗務で収入を得たいと考えるので、ダイヤの中でということになると運賃の問題とか色々なことが出てきますので、かなり検討しないと中々手を挙げられないのかなという、そういう心境でお話をいたしました。今のところそういう心境でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>はい。お願いたします。</p> <p>千葉交タクシーの藤田でございます。よろしくお願いたします。現在うちの会社では、デマンドを成田市で運行しています。今現在も運行しているのですけれども、これが23年の12月から3台の車、タクシーを2台でワゴン車を1台、合計3台で平日運行していました。料金は300円で70歳以上の高齢者を登録して頂きまして、成田市の北部の地域、交通不便地帯を運行するという形で運行したのですけれども、ここに表があるのですけれども、実際に23年の12月から運行して、当初は1か月で159人、それで去年の12月まで出ていますけれども、これが四てん何倍になりまして、去年の12月で711人になってお客様は増えました。現在登録している方も600人くらいいるのですけれども。ただしこれを見ると、乗合率を確認すると最大でも1.3人くらいしか。ですから定額のタクシーという見方にとれると思うのですよ。ですから乗合としてはあまり実際に乗り合いの形とれてないのかなというのがあるので、25年4月からは成田市の方で全地域に広げて料金を300円から500円に上げます。それで台数も3台から7台に増やしますけれども、これでバス事業者、タクシー事業者が強く言ったのは、料金300円のままで運行されてしまいますと、タクシーのワンメーターというのが710円なんですけれども、片道300円ですから往復600円で運行されるということになりますので、タクシーを利用する人はいなくなるだろうということで、成田市の方に強く要望したのは、70歳以上の高齢者だけに限定してほしいということと、バス事業者からは7台以上の運行はしないでくれということで、ようやく決着しようとしています。ですので、私の見解としては、交通不便地帯をオンデマンドのタクシーが運行するというのは、路線バス・コミュニティバスが使えないという人に対しては必要であるかもしれませぬけれども、競合してまでやる必要があるのかなというのが考え方です。他の自治体でも多古町につきましては去年やはり運行しましたけれども、これはオペレータはその委託したタクシーの事業者に依頼しています。今現在、成田市の場合は東大のオンデマンド方式でうちの会社でオペレータを採用して実際にそのシステムを利用して運行しているような状態なんですけれども、一番はやっぱり交通事業者が例えばうまく共存できるような形がとれるのが一番いいのかなという個人的な意見があります。以上です。</p>
------------------------	---

議	長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>今のご指摘は、まず高橋さんのご指摘は、デマンドに代えたからと言ってすぐタクシー事業者が直ぐ手を上げるよというような性格のものではない、それは色々な条件、色々な前提、制約が出てきますということと、さらに藤田さんからは、既存の交通事業者との共存なくしてはうまく行かないし、そこをどうするかとのお話がありました。この点、2つございましたけども、事務局の方でいかがでしょうか。</p> <p>具体的な内容についてはこれからさらにもう少し詰めていくことになろうと思いますが、詰めていくにあたっての方針なり考え方なり、いかがでしょうか。</p>			
事	務	局	<p>はい。何れにしましても交通事業者との共存という部分が見ていけないといけない部分であろうかと考えております。なるべく区域設定ですとか目的地の設定というようなところでタクシーとの違い、あるいは路線バスとの区域の差別化というところまでできるだけ影響のないようにということを考えていきたいと思っております。</p>		
議	長	<p>あと、もう1点は高橋さんからご指摘があった、実際にどこかに委託をさせたいという時に、その内容の詳細な部分で課題がありますが、その点についてはどうでしょうか。</p>			
事	務	局	<p>運行形態とか契約等につきましては、まだ案として考えているだけでございますので、実際の試行実施に向かいますのは、皆さまとご協議させていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p>		
議	長	<p>よろしくお願いいたします。</p> <p>では、他に皆さまお気づきの点などいかがでしょうか。</p>			
岩	崎	副	会	長	<p>佐原地区ですけど与田浦線とエリアがかぶるところが一方所だけ、これバス停があるかわかりませんがございます。走っている関鉄さんの方のご意見をいただきたいのが一つと、それと小見川の方はまさしくバス路線が入るところを仕切りますので、ここは補助路線、あるいは2分の1補助路線だと思うのですが、そうすると小見川地区は全額補助だとバスの利用者が少なくなれば市の持ち出しは増えるということですね。それでデマンドが乗っても乗らなくてもシステムを入れたらシステム経費、借上経費がかかるから増えるということと、現在の利用者がバスからデマンドへ流れればバスの経費が増える。そのどちらでもなければデマンドの経費がそのままですし。と、いうことが小見川の方はわかりやすいのですが、佐原の方ですがいかがでしょう。</p>
橋	本	委	員	<p>関鉄観光バスの橋本です。お世話になります。</p> <p>デマンドにつきましては各委員からでているようにビジネス問題がありまして、バス会社としてはですね慎重に議論をということなのですけども、他の市町村で導入していて失敗例ではないが特定の利用者が使う、特定の行政サービスとい</p>	

	<p>うか、一部の限定された方が使っているというような状況の中で、コミュニティバスにみたいな特定のお客さんが定時に使うと。特定でない色々な利用者が自由に使うというのがバスなので、そこら辺がネックになってくるという話は聞きまら。ですから、そこら辺りを慎重にということと、それから、当社路線につきまして一部路線がかぶるとのご心配につきましては、この間も市役所の方が見えた時にお話ししたので、サービスとして住民が望むからというのは行政としては大事な部分があるにしても、将来ですね、路線バスとしてこの路線を残すのか、デマンドシステムに切り替えるのかそのあたりちゃんと踏み込んだ中でですね、路線の方に被らないように、それぞれ先程言いましたように共存できるような運行体制を持っていかないと。お互いに共倒れ。デマンドも共倒れしてしまう。路線も維持していけないというような状況だけは回避したいので、デマンドと路線ははっきり区分けをしてですね、離すとか条件をある程度ハードルを上げるとか、そうでないとそれぞれいい所取りは最終的には何も残らないということになる可能性もありますよ、と申し上げました。それから先程タクシー会社からもちょっとお話があったなるほどなと思ってお聞きしていたのですが、デマンドをやりますとですね、従来1台700、800円で乗っていたお客さんが300円、500円となるわけですから、そうしたらタクシー事業も圧迫してしまうということで、タクシー会社の場合もろ手を挙げて賛成するタクシー会社ばかりということにはならないということも、なるほどなと思っておりました。当社についてはこのような意見ということでございます。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございます。それでは他にいかがでしょうか。はい、お願いいたします。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>千葉県です。よろしくお願ひします。 他の市町村さんですね、デマンドの導入の話をお聞いておりますと色々なデメリット、問題点も出てきておまして、やはり高齢者の方の利用が多いということで、高齢者の方と同じような時間帯で病院に行ったりとか買い物に行ったりということで、予約時間が集中してしまうとか、予約を断っていただきますねとか、そういう話もありましたし、その割には乗り合っていないとかということでデマンドなんですけどほとんど1人しか乗っていないような状況になっているような話も聞いております。あと、コミュニティバスとデマンドを組み合わせた形も試行で研究している市町村さんもありますので、そういった意味で他の市町村さんに事例等をもうちよつと調査されるとより良いものができるのかなと感じました。自治体の例のところではやはり受付の所が全てシステム導入の所しか調査されていないようなので、システムを導入されていないところの自治体さんの調査もされると良いのかなと感じました。以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございます。2点、ご指摘を頂戴しましたけれども、他市の事例をもっと見ていけば色々なことが出てくるのではないかなということと、もう一つはシステムの話で</p>

<p>事務局</p>	<p>すね。その点について事務局の方でいかがですか。今まで既にかなり色々と事例を調べてはいるかと思えますけどもいかがでしょうか。</p> <p>はい。色々と検討はしてきた訳ですけれども、近隣でもまた新しい形で始めているというような所もございまして、さらにそういった新しい情報なども取り入れながら検討していきたいと考えております。あと、システムの所に色々と検討が集中してしまっているのではないかとこの点もご指摘としてあったかと思えますけども、運用面なども含めて十分検討していきたいと思えます。システムについては最初にはシステムを導入しないといけないかということも検討はしたのですが、引き続き導入しないといけないかということも視野に入れていきますけれども、一応現在の所ではこのコミュニティバスを代替するという位の需要のなかでは、中々システムなしでやっていくのは難しいのかなと考えているところでして、しかし費用面とか非常にかかるものですので引き続き検討して参りたいと考えております。</p>
<p>議長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>この交通の問題がすごく難しいのは、余所で成功しているからと言ってそれをそのまま同じようにやればうまくいくかということとそうではないと。実際にどういった方の利用が考えられるかとか、どういった利用が多いのかとか、地域の実情がやっぱりかなり違うので余所の事例をそのまま持ってきてもまずうまくいかないし。やっぱりうまく行っているところの事例をきっちり考えて、うちの市だったらどうかということをかかり検討しないといけないし、いい所だけを見てもだめで失敗している、あるいはうまくいっていない所をうまく聞き出しして、中々教えてくれないと思えますけれども聞いて、なぜうまくいかないのか、それは香取市では何か工夫すれば改善できるのか、その辺りを良く詰めないといけないよということかなと思えますので、引き続き最新情報をとって検討するようにお願いしたいと思います。</p> <p>それでは他にないようでしたら時間も迫っておりますので、続きまして、住民アンケートの実施について入りたいと思えます。それでは、この協議会で今、るるご指摘いただいておりますが、運行計画そのものにつきましてはさらに検討したうえで、さらに次回3月の時にかけるということで事務局でお願いします。</p>
<p>議長</p>	<p><b>(2) 住民アンケートの実施について</b></p> <p>それでは、議事の(2)住民アンケートの実施について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 議長</p>	<p><b>【住民アンケートの実施について説明】</b></p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ただ今事務局から住民アンケートの実施につい</p>

てご説明がありましたけれども、これについてご質問やご意見等を頂戴したいと思っておりますけれどもいかがでしょうか。

では、岩崎さん、お願いします。

岩崎副会長

はい、多分このアンケートをすると、デマンドを利用しますという希望的観測の回答が来ると思います。すると必然的に住民の方はデマンドを望んでいるから入れるというようなことになると思います、本当に良いのかというのがあるのですが。例えばやるときに、協議会の中で粗々の案を考えて、例えばデマンドの運行時間帯が8時から17時ですよと言った時に、例えば佐原の方のバスでいくと第1便と第5便のコミバスはなくなるんですよ。例えば1便の6時56分発もなくなるし、市役所発の5便の17時10分もなくなるんです。その代り9便体制になって今より利用しやすくなるんですというようにことをしっかり教えながら、この中でどのコミバスを使っていますか、バスを使っていますかという問いがあって、その次にその今バスを利用されている方はこのデマンドに移行できますか、変更可能ですかという問いをかけて、そこで○ですと言えばそのまま○、で×と言った人その理由を聞くというように、移行する人をしっかり聞いていくということが必要だと思います。と言うのは、コミバスの利用人員とデマンドの利用人員を比べると、デマンドの方が少なくなってしまうということは、市民の出歩く機会を奪ってしまっている。ちょっと言い過ぎかも知れませんが、何のためかデマンドを入れたかわらなくなってしまうのです。確かにデマンドって行くときは良いのですが帰りが不便で利用しづらくなるんです。コミバスで行きは行ってコミバスで帰るみたいな人は帰りの利用がしづらいですね。病院で何時に終わった時に帰りの予約をしないとイケないですね。コミバスだったら何時に乗るからとか済むんですけど。帰りの予約が大変だと言って毛嫌いする方がいらっしゃるようです。先程、轟委員からありましたけれども、だいたい病院の行きと帰りが予約が被っちゃうとかいうのがあるので、その辺りしっかり利用者がデマンドに移行するかどうかというところを聞く仕組みって必要かなと思います。あと、もうちょっと詳しく情報を提供してあげた方が良いのかなと思います。と言うのは、今、年間800万円程度のバス代がかかっています。デマンド導入するとさらに何百万もかかりますという税負担も良いですか、他の市町村ではそこまで厳しく突っ込んでいます。なぜかというところコミバスの経費を軽減したくてデマンドを入れると言っているのだから、というのがあるので、他の市町村さんは。だからそういうキャップをしっかりとしながら出しているというのがありますが、そこは市の方で負担はあまり考えなくて良いということであればそれはそれでわざわざお見せする必要はないかなと思います。ですので、その辺りは事務局さんで検討していただきたいと思っております。それから、デマンドの細かい文言になりますが良いですか。4-3で、「問4で2と答えた方にお伺いします。市が検討している交通システムを利用しないと思う」という所で、ちょっと誘導っぽい回答があつてですね、タクシー会社さんから見るとどうかなと思っております。

	<p>るのが手間だから」。それはわかります。「タクシーで乗合すると時間が正確でないから」と言って、あたかも本当に乗合タクシーって不便みたいに書くのですけれども、さっき言ったように乗合率が1.0だと定額のタクシーと変わらないのでものすごく正確です。で、すごく早く着きます、1人しか乗らないから。というのも実はあるのですね現状としては。なのでその辺り言葉がきついな。あと、4番「知らない人と狭いタクシーに乗り合い」。タクシーが狭いというと批判的に書かなくてもいいのかなと。ちょっとあまりにもタクシーを攻撃しているような言葉であり好きではありません。ちょっと考えていただければ。それから3ページのところでデマンドについて説明しているところですが、予約が必要と言うこと、他の利用者と乗合になるので、運行時間がかかるだけではなくて、お迎え・お送り共に時間がかかりますというようなデメリットをしっかりと伝えたいと思います。以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい、ありがとうございました。 表現ぶりのことですか、あるいは全体としてはもっと詳しく情報提供して細かな意見を聞いたらどうか、ということでしょうか。事務局の方でこの点についてありますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>はい。今日こういう形でアンケートの案を提案させて頂いたところなのですが、これにつきましては、より詳細にこちらで検討して、郵送相手等に関しましても、より検討する必要があるのではないかと考えております。</p>
<p>議 長</p>	<p>では修正など、対応方よろしくお願ひします。 他にお気づきの点、いかがでしょうか。 はい、お願ひします。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>千葉県です。 質問なのですけれども、アンケートを実施する前にその地区の方にもまず説明とかをやってからアンケートをやられるのでしょうか。ちょっと乗合タクシーとか一般の人ってよくわからないのかなと思ひまして、アンケートが来ても十分理解をして回答できるのかなと思ひたもので。他の自治体さんで聞くのは、住民説明会をまずやってご理解頂いて、ご意見いただくという話を聞いておひまして、香取市さんの方はそういう点でどうなのかなと思ひて質問させていただきました。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>現段階では、住民説明会の前にこのアンケートをとの方向でしか考えておりませんでした。実際にアンケートの後に運行に当たっては住民の説明会を考えているのですが今この段階ではアンケートの前に住民説明会は考えておりません。以上です。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>わかりました。本当は説明をまずしてからの方が良いのかなと思ひのですが、市の方針ということでしたら了解いたしました。</p>

<p>議 長</p>	<p>すみません。アンケートをとるときに住民説明会を事前にやるかどうか、それは乗合タクシーについての最初の説明部分で一般の方々のイメージがつくかどうかのところにかかっていると思うのですけれども、今のアンケートの書き方だともう少し書かないとわかりづらいから、詳しく書くか、書かないのであれば説明会を事前にやったらどうかということでしょうか。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>乗合タクシーについてご説明してあげた方が親切ですし、先にご説明した方がよりちゃんとしたアンケートの回答が頂けるのではないかなと思ったので質問させて頂いたのですが。</p>
<p>議 長</p>	<p>この点、実際、住民説明会をやって、来た人にアンケートをとると特に関心が強い人に重点的にアンケートを出すことになりますね。やって無関係に一般的に無作為抽出でやると今度は説明会をやった人、実際来られる人は比率としてはそれほどおそらく多くないと思うので、その辺りどうするかなどという問題もあるかなと思います。ちょっと事務局の方でどうするか少し検討をお願いします。もうちょっと、わかりにくいということであれば今のこの最初の乗合タクシーについての説明部分をこんな程度で良いのか、他市でアンケートをとった事例でどこまで詳しく書いているのか、比べてみてどうなのか、というところで検討してもらおうようお願いいたします。他にいかがでしょうか。はい、どうぞ。</p>
<p>鵜 澤 委 員</p>	<p>私がこのアンケートを見て思ったのは、確かにわからない方も多いですよ、デマンドも。その方がこれを見たときにわかるように、ここにコミュニティバスがなくなりますよ、廃止されますよということもきちんと明記しないと。ああ、こういうものもあるのかというだけで出されると全部賛成になってしまうので、本当のその方の利用と言うのを考えてみると、コミュニティバスがなくなってしまうものになりますよと。デマンドってこういうものなんですとこの中で記載して頂ければと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい、ありがとうございます。 そうしますとデマンドの説明の前にですね、前段として、交通がこうなっていてこれを止めてこうするんだということなのでアンケートをとっているんだということがもう少しわかるように、ということですのでお願いします。先程、岩崎専門官からご指摘があった点と共通しているかとも思いますし、皆さん、中々乗合タクシーと言ってもわからないだろうというところとそうだろうと思いますので、もう少しわかりやすいような工夫、はっきりとご意見が頂けるような工夫をお願いいたします。よろしいでしょうか。 それでは、お願いします。</p>
<p>岩 崎 副 会 長</p>	<p>すみません。聞き漏らしたんだと思います。アンケートで住民用と利用者用というのがございますが、利用者用という</p>

議 長	<p>のは、ここの世帯と一緒に同封して行くということですか。</p> <p>では、事務局の方で説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>はい。住民用と言うのは世帯に郵送でアンケートを求めることを考えておりました、こちらの利用者用につきましては今循環バスを実際に利用されている方、この方が循環バスを休止してデマンド交通に切り替わるといことですから、その方に対して、バスの中にアンケート用紙を設置しまして、回答につきましては郵送をお願いする考えなのですが、バス内に設置しまして回答するというを考えております。</p>
議 長	<p>それでは他によろしいでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、アンケート調査の中身については、今日頂いたご指摘を踏まえて事務局の方でさらに修正、検討して対応をお願いいたします。その上で、アンケート調査を実施するというにさせていただきたいと思ひます。</p>
	<p><b>(3) 協議会規約の改正について</b></p>
議 長	<p>では、続きまして議事の(3)香取市地域公共交通協議会規約の改正について事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p><b>【香取市地域公共交通協議会規約の改正について説明】</b></p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>現在の協議会を交通会議に規約変更しまして、メンバーも少し加わってデマンドの検討をしっかりとやっていこうということでございますが、この点についてご質問等ございましたら頂戴したいと思ひますがよろしいでしょうか。どうぞ。</p>
古 橋 委 員	<p>香取土木事務所でございます。</p> <p>メンバーの職名をはずすということでございますが、我々、充て職でもってこういう会議に出席させていただいております。職名を外すということになりますと、当然4月等で異動がある訳ですが、その時に次は出れないという状況が出て参りますので、いかなるものかと考えておりますが、どうでしょうか。</p>
議 長	<p>すみません。次は出れないというのは。</p>
古 橋 委 員	<p>土木事務所の誰々と言うことであれば、その土木事務所から自分が転勤してしまえば、後任がいらないということになる。要は、私は前所長の後任で所長として入っている訳です。そこで職名がなくなるということは、もうこの4月で例えば異動すれば次誰が出ていいのという話が出てきますよ、ということなんですよ。</p>
議 長	<p>はい、どうぞ事務局の方で。</p>
事 務 局	<p>はい、今まで所長さん委嘱と言うことでなっております</p>

古橋委員	が、今度は土木事務所として指名した人間というような形になりますので…。
事務局	誰が指名する？土木事務所が指名する？
古橋委員	そうです。ですから、所長さん、ご自身を指名されるのもあり得るということだと思いますが。その組織として…。
事務局	やりづらいですね。充て職ではまずいでしょうかね。
議長	すみません。職名が変わったりするとまた規約変更というようなことで直したいとの話だったのですが、職名の方がよろしければ組織上の名前が変わったりした時には再度規約の変更をかける、ということによろしいのであれば、元々の充て職の名前でもよろしいということです。
事務局	では皆さんがよろしければ、元のとおり所長であったり充て職の形で採用するということですが、それでもよろしいでしょうか。はい、よろしければ前のようにさせていただきます。
議長	では元の形に戻させて頂こうと思います。
事務局	他によろしいでしょうか。よろしいようでしたら、先程の件、元に戻すというような形で規約の改正について承認されたということにさせていただきます。
事務局	予定された議事は以上でございますけれども、最後に事務局から何か説明がありますでしょうか。
議長	本日説明させて頂きました内容につきまして、今後さらに検討を進めさせていただきたいと思います。本日お気づきの点等ございましたら、FAXなどで送信して頂けたらと思いまして用紙を配布させていただいております。そちらの方で送付していただければと思います。以上でございます。
議長	ありがとうございます。 では、以上で本日の議事は終了いたしました。長時間に渡り、皆さまご協力いただきましてありがとうございました。
議長	<b>4 閉会</b>

会議の名称 第11回香取市地域公共交通協議会  
開 催 日 平成25年1月22日(火)

## 出欠席者名簿

委員氏名		出欠
会長	八木 貴弘	出席
副会長	岩崎 英一	出席
委員	伊藤 昌央	出席
委員	古橋 守雄	出席
委員	小川 幹人	出席
委員	花崎 幸一	欠席
委員	高橋 實	出席
委員	藤田 信一	出席
委員	鵜澤 尚夫	出席
委員	橋本 定廣	出席
委員	渡辺 道彦	出席
委員	中田 太治	欠席
委員	田谷 志郎	欠席
委員	菅井 國郎	出席

委員氏名		出欠
委員	菅谷 長藏	欠席
委員	松川 忠史	欠席
委員	八角 和爾	欠席
委員	林 浩美	欠席
委員	本宮 敏雄	出席
関係職員	寺島 雄一	出席
関係職員	瀬宮 洋嘉	出席
関係職員	土戸 貞美	出席
関係職員	石田 清隆	欠席
関係職員	大堀 常昭	出席
関係職員	高岡 茂	出席
関係職員	高木 秀雄	出席
関係職員	石毛 義則	出席
関係職員	澁谷 武男	出席

出席 20人 ・ 欠席 8人

## 香取市地域公共交通協議会 委員名簿

(平成25年1月22日現在)

No.	役割	氏名	所属団体及び役職名
1	会長	八木 貴弘	香取市副市長
2	副会長	岩崎 英一	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局首席運輸企画専門官
3	委員	伊藤 昌央	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班長
4	委員	古橋 守雄	千葉県香取土木事務所 所長
5	委員	小川 幹人	香取警察署 交通課長
6	委員	花崎 幸一	社団法人千葉県バス協会 専務理事
7	委員	高橋 實	北総自動車株式会社 代表取締役
8	委員	藤田 信一	株式会社千葉交タクシー 常務取締役
9	委員	鶴澤 尚夫	千葉交通株式会社 常務取締役
10	委員	橋本 定廣	関鉄観光バス株式会社 専務取締役
11	委員	渡辺 道彦	ジェイアールバス関東株式会社 八日市場支店長
12	委員	中田 太治	福田線バス路線をまもる会 会長
13	委員	田谷 志郎	東日本旅客鉄道株式会社 佐原駅 駅長
14	委員	菅井 國郎	香取市社会福祉協議会 事務局長
15	委員	菅谷 長藏	香取市高齢者クラブ連合会 会長
16	委員	松川 忠史	市民（佐原区）
17	委員	八角 和爾	市民（小見川区）
18	委員	林 浩美	市民（山田区）
19	委員	本宮 敏雄	市民（栗源区）
1	関係職員	寺島 雄一	総務部長
2	関係職員	瀬宮 洋嘉	企画財政部長
3	関係職員	土戸 貞美	市民福祉部長
4	関係職員	石田 清隆	経済環境部長
5	関係職員	大堀 常昭	建設部長
6	関係職員	高岡 茂	教育部長
7	関係職員	高木 秀雄	小見川支所長
8	関係職員	石毛 義則	山田支所長
9	関係職員	澁谷 武男	栗源支所長
1	事務局	林 高志	企画財政部企画政策課長
2	事務局	宇井 正志	企画財政部企画政策課企画調整班 班長
3	事務局	石毛 貴光	企画財政部企画政策課企画調整班 主査
4	事務局	菅谷 和之	企画財政部企画政策課企画調整班 主査